

【記載例】

(一時占用)

- | | | | | |
|---|------------|---|-----|----|
| 1 | 河川の名称 | 関川水系 | 保倉川 | 左岸 |
| 2 | 占用の目的及び態様 | 工事用足場設置のため | | |
| 3 | 占用の場所 | 上越市〇〇〇〇25番 | | |
| 4 | 工作物の名称又は種類 | 足場 | | |
| 5 | 工作物の構造又は能力 | 単管（スチール製）延長 L = 50 m | | |
| 6 | 工事の実施方法 | 申請書添付図書のとおり | | |
| 7 | 工 期 | 令和3年5月1日から令和3年5月20日まで
(または許可の日から一日間) | | |
| 8 | 占用面積 | 〇〇 m ² | | |
| 9 | 占用期間 | 令和3年5月1日から令和3年5月20日まで
(または許可の日から一日間) | | |

【記載要領】

○河川の名称

水系名、河川名、左右岸の別を明記してください。

○目的

「○○○○設置のため」などと記載してください。

○場所

・「字○○番」まで明記してください。

○工作物の名称又は種類

主要な工作物の名称又は種類を記載してください。

○工作物の構造、能力

主要な工作物の構造又は能力を記載してください。

○工事の実施方法

施工の順序等について、工事工程表に照応するよう具体的に記載してください。

なお、施工計画書などの別紙に記載する場合、「申請書添付図書のとおり」と記載しても可能です。

○工期

工期内に完成検査を実施する必要があるため、ある程度余裕を持った工程表を作成してください。

○その他

変更の許可申請の場合：変更しない事項についても記載し、かつ、変更する事項については変更前のものを赤色で併記してください。

【添付図書】（例）（河川法施行規則第15条又は16条）

○事業計画概要書

新築等に係る事業の計画の概要を具体的に記載してください。

○位置図

縮尺は1/50,000とし、申請箇所を○印で表示し、「申請箇所」と赤書きしてください。

○実測平面図

- ・縮尺は1/100～1/3,000の範囲としてください。
- ・申請に係る行為によって影響があると判断される区域まで含めて実測してください。
- ・申請範囲、河川区域、河川保全区域、官民境界を赤線で必ず明示してください。
- ・必要に応じ、横断面図と比較できるように測線（測点）を記入してください。

○実測横断面図

- ・縮尺は状況に応じ、1/100～1/1,000としてください。
- ・平面図同様、申請範囲、河川区域、河川保全区域、官民境界を赤線で必ず明示してください。
- ・堤防に近接して工作物を設置する場合は、必ず、堤防を含めた図面を作成してください。

○工作物の設計図

- ・設計図の内容は、次のとおりとしてください。なお、工作物の種類によっては不要な図面もあ

りますので、ご不明な場合は窓口にご相談ください。また、縮尺はあくまで目安ですので、図面構成により変更することは構いません。

工作物の平面図

工作物の正面図

工作物の側面図

工作物の構造図（縮尺 1/50～1/200）

・図面には整理番号を付し、図面袋の表側に添付図面の一覧表を貼付してください。

○工事の実施方法を記載した図書

工事の実施上の問題点とその対策を記載した図書を添付してください。

○工程表

申請内容に沿って工種別に作成してください。

○土地の権原に関する図書

占用箇所の土地の権利関係を確認するため、下記の書類を地方法務局等から入手してください。

・不動産登記法第14条地図またはこれに準ずる図面（公図）の写し

・土地登記簿の謄本または抄本

または、土地の権限を有すること又は権原を取得する見込みが十分であることを示す書面
同意書、売買契約書の写し、賃貸借契約書の写しなどを添付してください。

○他の行政機関の許認可書の写し

申請に係る行為または事業に関し、他の行政機関の許可・認可などの処分を受けることを必要とする場合、許可書・認可書等の写し又は許認可等を受ける見込みがあることを示す書面（申請書の写しなど）を添付してください。

○現地写真

○前回許可書の写し

変更申請の場合のみ添付してください。